

水稲用
一発処理除草剤

半蔵

はんぞう

1キロ粒剤



一発仕事人

一発剤に、すごい仕事人がやってきた。
その名は、半蔵。



SU抵抗性雑草に強い

ベンゾビシクロン、ペントキサゾンの効果によりSU抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ、アゼナ類）にも安定した効果を発揮。



SU抵抗性ホタルイ

田植同時散布機で省力化

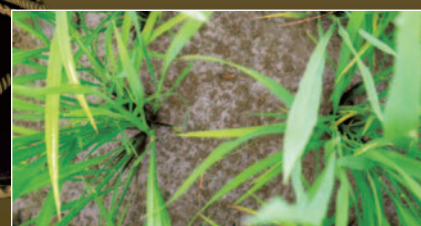
田植機にアタッチメントを取り付けて散布することで、除草作業を軽減する移植時処理が可能。



田植同時散布

高い土壌吸着性で、長い効果

有効成分の特徴から、土壌表層に安定した処理層を作り、ふれが少なく長く安定した効果を実現。



半蔵1キロ粒剤処理

■ 散布モデルケース

田植同時散布を含む雑草発生前の処理がお勧めです

使用適期 (上手な使い方)

(代かき)

田植え 田植え1ヵ月後 田植え2ヵ月後

■ 使用量：1kg / 10a

- 田植同時散布は落水下で行い、施薬後に入水してください。
- 田植後なるべく早い時期に処理する。より確実な除草効果を得るためにもノビエ1葉期までに使用してください。

ノビエ1.5葉期まで

半蔵

田植同時散布 田植後散布

効果持続

早めにまくので雑草をとりこぼさない

長く効くので後発雑草を抑える

結果として収穫時の雑草が少なく、刈り取り作業が楽

※地域や圃場条件によって、差異がでることがあります。

■ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	使用方法	シクロスルフアムロンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
移植 水稻	一年生雑草及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内	3回以内	2回以内
		移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで						
直播 水稻	一年生雑草及び マツパイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ノビエ1.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布			

▲ 使用上の注意事項

- 雑草の発生前からノビエの1.5葉期まで有効なので、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイは2葉期まで、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ及びコウキヤガラは発生始まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ及びシズイの防除に当たっては、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。フラクすなどの浮遊物ではできるだけ取り除き、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 田植え同時期に施用する場合は、通常の移植作業と同様に落水下で田植えと施用を行い、施用後に入水してください。また、入水後の散布については、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布してください。処理後は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意してください。
- 以下のような条件下では、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。特にこれらの水田条件と散布日または散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。

1. 砂質土壌の水田や漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)。
 2. 軟弱徒長苗を移植した水田。
 3. 極端な浅植えをした水田や浮き苗の多い水田および極端な深植えをした水田。
- 直播水稻に使用する場合は、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください。稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
 - れんこん、くわい、いぐさ、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
 - 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 散布器具の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。

このチラシの記載内容は2019年12月現在のものです。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。● 防除日誌を記録しましょう。

OAT アグリオ株式会社
 OAT[®] <https://www.oat-agrio.co.jp/>
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター: ☎ 0120-210-928 (9:00-12:00・13:00-17:00) 土日・前日休務